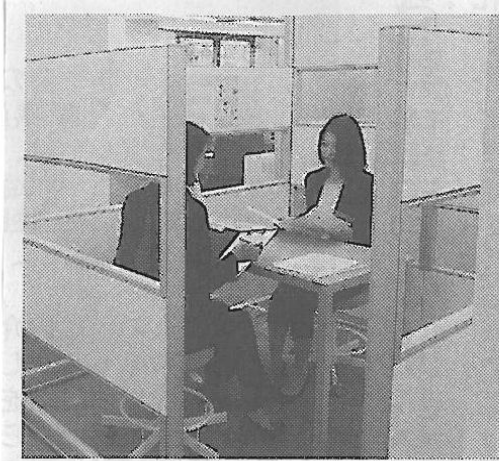


Topics

弊社エンプロが中部経済新聞で紹介されました。

(中部経済新聞 2011年11月4日)



「奉行シリーズ」の専門スキルを持つ人材のパート派遣サービスを始めたエンプロの社内

同社は、家庭の事情でフルタイム労働が難しい実務経験のある既婚女性を、業務量に波があり特定の日に人材が不足する企業向けに、

エンプロ

基幹業務ソフト「奉行シリーズ」

専門パート派遣開始

販売元 OBCと業務提携

既婚女性のパートタイム型人材派遣を展開するエンプロ(本社名古屋市中区丸の内2の19の25・MS桜通6階、野崎晃社長、電話052・203・4510)は、9月から基幹業務ソフト「奉行シリーズ」の専門スキルを持つ人材のパート派遣サービスを開始した。同社は今後3年をめぐりに同サービス事業で700人の登録人材数を目指す。

(山田和幸)

パートタイムで派遣。既婚女性と受け入れ企業とのニーズを合致させたことで、04年の設立後、登録人材は3600人にまで増えた。受け入れ企業側からも社会経験や子育て経験を持つ既婚女性は責任感も強いと高評価を受けている。今回新たに奉行シリーズ販売のオービックビジネスコンサルティング(以下OBC)と業

務提携。東海3県(愛知・岐阜・三重県)のユーザー企業に対し、OBCから要請があればエンプロが専門スキルを持つ人材を派遣する。従来のサービスに付加価値を付けたことで、すでに15社から引き合いがあり、さらに新規派遣先開拓を目指す。中小企業に多い奉行シリーズのユーザー企業は、専門の担当者をつけるほど業務量がない。また月末前など特定日に集中するという悩みを持つ企業が多く、パートタイム型派遣サービス導入によるメリットは大きいという。一方、OBC側も自社のソフト販売促進ツールとして活用。業務ソフト未導入企業に同サービスを販売する際、使える人材がいなくても、セットで提案することが可能となった。野崎社長は「(既婚女性など)スキルと意欲のある人材に雇用の場を提供できれば、社会に貢献にもなる。名古屋の主婦力を企業の成長に繋げたい」と語る。今後は「売り上げの9割を占める派遣事業だけでなく、アウトソーシング(外部委託)事業にも力を入れたい」としている。